

第十六回春陽会展覧会 鑑査日記案内

御清祥慶賀します 愈々来る四月三、四両日、上野にて搬入受付を開始して、

四月五日 鑑査 午前九時より夕刻迄

六日 全 全

七日 全 午後四時入選発表

八日 陳列

九日 招待日

と云ふことになりました。

鑑査日には例に依つて御来観下さい。

右、御通知旁々 開会切迫御挨拶まで

昭和十三年四月一日

(*第三期(昭和十二年七月〜昭和二十四年五月) 事務所…木村荘八)

第十六回春陽会展覧会 鑑査注意 (会員向け)

本会展覧会が特に厳選をするやうになつてから今回は三年目であるが、其結果はよかつたやうである。出品の傾向は益々堅実になつて来た。概して常連のものによいものがある。

常連と云つても、中期よりの出品者が多く、会初期のものは、よいものは大方会友、会員となり、他は殆どかげを没した如くである。

事変(*支那事変)の影響とも云ふべきものは、ちよつと見られぬ如くであるが、一般に活気のあるところが、或は事変影響のあらはれと見られぬこともない。

会の関係者にて出征せる者四名。うち一人(上岡美平)は名誉の戦死者にて、遺作、として作品二点出品せられた。他三名は健在にて目下、戦地に活躍してゐるが、いづれも出品している。

* (支那事変…昭和十二年七月七日盧溝橋事件勃発)

春陽会

〔戦死〕

上岡美平 (二十八歳) 出品者。

愛媛県喜多郡五十崎出身。早稲田大学国文科にありし、少尉なり。

昭和十二年九月二十七日 羅店鎮に於て戦死す。

早稲田在学当時、春陽会研究所に通ひ、第十一回、十二回展に入選す。

〔出征〕

原 精一 会友。

輜重兵伍長。九月上海に出征。

本郷部隊鈴木隊に所属。

佐野八郎 (第六回展よりの出品者)。

横浜市中区日の出町二ノ一一九。

横浜で「ムテキ屋」という米屋を営み、インテリ米屋として知られる。青年訓練所の先生、その他、市、町の世話役をして人望あり。

柳川部隊、藤井部隊、小泉部隊水野隊に所属。